

「熊本県読書バリアフリー推進計画（案）」に関する意見募集の結果及び  
県の考え方について

「熊本県読書バリアフリー推進計画（案）」について、県民の皆様から御意見を募集しましたが、寄せられた御意見の概要と、これらに対する県の考え方を下記のとおりお示しします。  
御意見をお寄せいただきありがとうございました。

記

(1) 募集期間

令和4年（2022年）5月11日（水）から令和4年（2022年）6月9日（木）

(2) 御意見の件数

1件

(3) 御意見の概要と県の考え方

No	御意見の概要	県の考え方	取扱
1	<p>今回の計画は、全体として素晴らしいものだと思う。これまでも、点字図書館、全国視覚障害者情報提供施設協会、学校図書館等が連携し、情報提供に努めてきたことは、高く評価されるに値するものであり、今後の普及啓発が期待される。</p> <p>その上で、普及するための人材育成に関して意見を述べる。</p> <p>デイジー図書やサピエといった素晴らしいシステムがありながら、認知度が低い。</p> <p>今後、図書作成のための技術の普及、図書情報の啓発をより活発なものにするためには、熊本県内のコンピューター関連の企業の協力を得て、こうした図書情報の素晴らしさをアピールし、技術者を育てることが望ましいと考えられる。これまで、開発者が不足していたのは、技術者が消極的ということではなく、ソリューションとしての確立がなされていないことからくる認知度の低さと考える。</p> <p>いずれにせよ、今後の推進計画に期待する。</p>	<p>御指摘のとおり、県民への普及啓発及び人材育成は、障がい者等の読書環境の整備の推進に当たり、非常に重要であると考えています。</p> <p>アクセシブルな書籍等に関する情報提供等、読書バリアフリー推進に向けた理解が進むよう、広報媒体や研修等を活用し、関係機関等と連携しながら普及啓発に取り組むとともに、御意見も参考としながら普及するための人材育成等を推進して参ります。</p>	参考 (※)

(※) 参考：今後の取組の参考とさせていただくもの。